



日本



米国



ユーロ圏



カナダ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

債券・為替ウィークリーレポート (先進国・新興国)



ブラジル



南アフリカ



インドネシア



インド



メキシコ



トルコ



中国

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/24 （3/17との比較）	3/24 （3/17との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
日本 	A+	0.07% （▲0.01）	/	+1.6% 2016年4Q	-	米国で経済政策の審議が進まないことへの懸念が強まり、40年国債入札が無難な結果となる中、国債利回りは小幅低下。日銀はレポ市場の国債需給を緩和するための国債売現先オペの実施などの対応を公表。	CPIや鉱工業生産などの発表と、2年国債入札などの実施を予定。米国の政策動向と日銀の長期国債買い入れオペの動向などをにらんで、引き続き国債利回りはレンジ圏内での推移を見込む。
	A1	 金利横ばい		 景気安定	-		
米国 	AA+	2.41% （▲0.09）	111.34円 （▲1.21%）	+1.9% 2016年4Q	1.00%	医療保険制度改革案（オバマケア）の代替法案は下院での与党共和党内で調整が進まず、週末に同法案は撤回。トランプ政権の政策先行き懸念が高まる中、国債利回りは低下。米ドルは対円で下落。	トランプ政権は税制改革を急ぐと表明しており、引き続き政策動向が注目される。国債利回りが足元で相応に低下してきていることから、当面はレンジ内での推移が予想される。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ユーロ圏 （*） 	AAA	0.40% （▲0.03）	120.22円 （▲0.67%）	+1.7% 2016年4Q	0.00%	フランス大統領選挙でマクロン候補優位との見方が、同国のEU（欧州連合）離脱懸念後退にもつながる。米国債利回りが低下する中、ドイツ国債利回りは低下。ユーロは対円で下落。ユーロ圏PMIは前月比で改善を示す。	ユーロ圏のCPIなどの発表が予定され、引き続きフランスやイタリアなど各国の政治動向が注目される。また英国のEU離脱や、米国の政策動向などからも目が離せない状況。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示（*ユーロ圏についてはドイツの同格付を表示）。※2 10年国債利回りを表示（*ユーロ圏はドイツ国債利回り）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、米国：フェデラルファンド金利、ユーロ：主要リファイナンス金利を表示、日本は金融政策の目標が無担保コール翌日物からメタリベースに変更されたため非表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/24 （3/17との比較）	3/24 （3/17との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.64% （▲0.12）	83.21円 （▲1.43%）	+2.0% 2016年4Q	0.50%	CPIは予想通りの緩やかな上昇となり、2017年度予算案は大きな材料がなかった模様。米国国債利回りの動きに連れて、国債利回りは低下。供給過剰懸念より原油価格が下落する中、カナダドルは対円で下落。	GDP（国内総生産）などの発表が予定され、景気回復の度合いを探る状況。引き続き、金融緩和政策が維持される見通しの中、国債利回りはレンジ内での推移となるとみられる。
	Aaa	金利上昇	金利上昇	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
オーストラリア 	AAA	2.75% （▲0.11）	84.88円 （▲2.22%）	+2.4% 2016年4Q	1.50%	中銀理事会の議事要旨では、加熱する国内住宅市場のリスクを指摘しており、追加金融緩和の可能性が低いことが示唆されたとみられる。国債利回りは低下。オーストラリアドルは対円で下落。	国内では重要視される経済指標の発表はなし。中国と米国の政治経済動向に注目が集まる中、4月の金融政策は維持されるとみられることもあり、国債利回りはレンジ内での動きが予想される。
	Aaa	金利上昇	金利上昇	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	3.21% （▲0.07）	78.18円 （▲1.50%）	+2.7% 2016年4Q	1.75%	中銀は政策金利の据え置きを決定。声明文では、バランスの取れた成長のためにもう一段の通貨安が必要であり、当面緩和的な金融政策を維持する方針を示唆。ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	実施された乳製品入札では落札価格が小幅上昇しており、景気は堅調さが続く見込み。発表が予定される住宅建築許可や企業景況感指数などは、同様の傾向が続いていることを確認する内容となる見込み。
	Aaa	金利横ばい	金利横ばい	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.74% （▲0.06）	13.11円 （▲1.37%）	+1.8% 2016年4Q	0.50%	失業率は小幅改善したものの、軟調に推移する原油価格が同国経済に与える影響に対する懸念が優勢。他の主要国の金融市場の動きの影響と相まって、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは低下。	原油価格が足元で軟調に推移していることや、今月中旬に開催された中銀理事会にて、追加利下げの可能性が示唆されたことなどから、利上げ観測の台頭は見込み難い。金融市場の動きは原油価格に左右される見込み。
	Aaa	金利横ばい	金利横ばい	→ 景気安定	→ 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国 (地域)	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/24 (3/17との比較)	3/24 (3/17との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
ブラジル 	BB	9.84% (▲0.12)	35.81円 (▲1.81%)	-2.5% 2016年4Q	12.25%	政府が支持する人材派遣法案が可決されたものの、連立与党から造反議員が多く出た模様。今後、本丸の年金改革法案承認への懸念から、レアルは対米ドル、対円ともに下落。国債利回りは低下。	財務相より、年金改革法案の承認は人材派遣法案のようにはならないと、市場の不安を和らげる発言。一方、現政権関係者の汚職問題が再燃するなど政治的緊張感は高まりやすく、債券・為替ともに上値の重い展開を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	→	↑ 景気回復	↓ 利下げ局面		
南アフリカ 	BBB	7.58% (▲0.11)	8.97円 (+1.27%)	+0.7% 2016年4Q	7.00%	インフレ統計が前年比で鈍化したことや、經常収支が前四半期より大幅に改善したことが好感され、ランドは対米ドル、対円ともに上昇。国債利回りは低下。	金融政策決定会合が開催予定。政策金利は据え置かれる見込みで、市場の反応は限定的とみられる。同国では引き続き政治リスクのくすぶりが悪材料視されやすく、債券・為替ともに上値の重い展開を予想。
	Baa2	→ 金利横ばい	↓	↓ 景気鈍化	↑ 利上げ局面		
インドネシア 	BB+	6.91% (▲0.15)	0.84円 (▲1.07%)	+4.9% 2016年4Q	4.75%	主要な経済指標の発表がない中、欧米主要国の金利が低下したことや、海外からの投資資金の流入が強まったことなどを背景に、国債利回りは低下。円高により、ルピアは対円で下落。	マネーサプライや自動車販売台数などの発表を予定。米国債券市場が落ち着きを見せる中、海外からの投資資金流入の期待から、債券・為替ともに底堅い推移を予想。
	Baa3	→ 金利横ばい	→	↑ 景気安定	→ 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.78% (▲0.10)	1.70円 (▲1.10%)	+7.0% 2016年4Q	6.25%	今月中旬に実施された州議会選で現政権への信認が確認されたことや、GST (物品・サービス税) について、7月の導入に向けての順調な進捗が好感されやすい状況。国債利回りは低下。ルピーは対円で下落。	GSTに関する法案が近く国会に提出される見通し。国会における審議の進捗に注目。なお、会期は4月12日まで。目先、国内材料に乏しい中、海外市場の影響を受けやすい展開を予想。
	Baa3	→ 金利横ばい	→	↑ 景気回復	↓ 利下げ局面		

(出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成)

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示 (ブラジル：4年、南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年)。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高 (円安) を上向き、現地通貨安 (円高) を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。※政策金利については、ブラジル：Selicレート、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

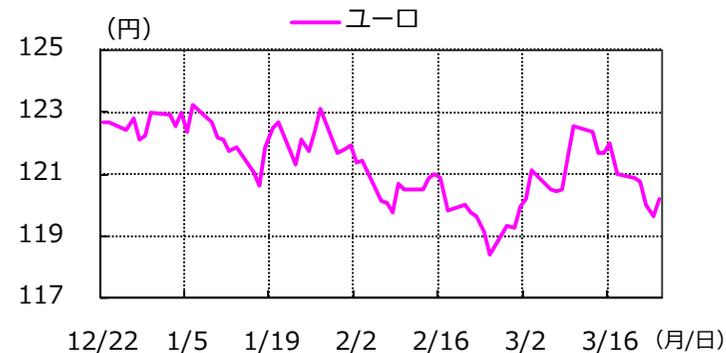
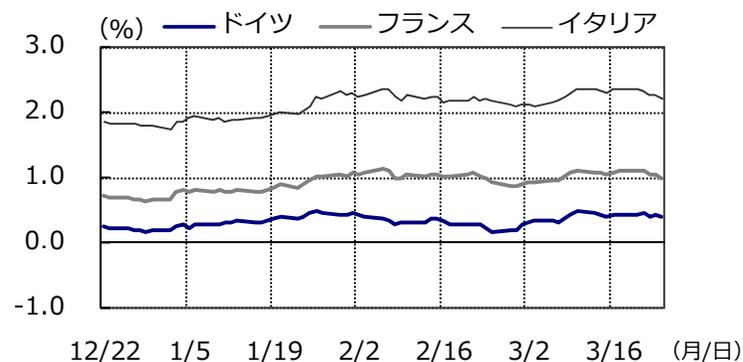
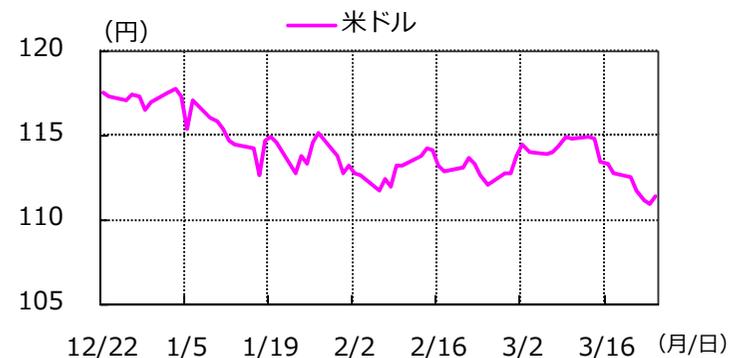
国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/24 (3/17との比較) 今後の見通し (※4)	3/24 (3/17との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
メキシコ 	A	6.96% (▲0.14)	5.93円 (+0.46%)	+2.4% 2016年4Q	6.25%	足元のインフレは市場予想を上回り加速。中銀総裁は追加利上げを示唆し、徐々にインフレが安定するとの見通しを示した。同国市場の安定への期待から、ペソは対米ドル、対円ともに上昇。国債利回りは低下。	金融政策決定会合が開催予定。足元でインフレ上昇圧力が強まる中、政策金利は引き上げられる見通し。NAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉を見据え、債券・為替ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
トルコ 	BB+	11.13% (▲0.17)	30.75円 (▲0.77%)	-1.8% 2016年3Q	8.00%	欧米諸国との関係悪化はマイナス材料となっているものの、米国における政策金利の引き上げ観測が一旦後退し、リラは対米ドルで上昇、一方対円では下落。国債利回りは低下。	4月に予定される大統領の権限強化の是非を問う国民投票に加え、欧米諸国との関係悪化を受けて、国内外で政治的な緊張が高まりやすい状況。債券・為替ともに上値の重い展開を予想。
	Ba1	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		
中国 	AA-	4.33% (+0.07)	16.13円 (▲1.16%)	+6.8% 2016年4Q	4.35%	主要な経済指標の発表がない中、四半期末を控え、香港市場の人民元調達コストが上昇したことを受け、国債利回りは上昇。円高により、香港市場の人民元は対円で下落。	製造業・非製造業PMIなどの発表を予定。製造業PMIが50超を維持できれば、中国景気が安定化しているとみられ、当局による追加金融引き締めへの警戒感が強まり、国債利回りは上昇しやすい地合いを予想。
	Aa3	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示（メキシコ：5年、トルコ：5年、中国（香港市場における中国国債の利回り）：10年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを表示。※為替レートについてはいずれもNY終値（中国の為替は、香港市場における人民元の為替レート）を表示。※政策金利については、メキシコ：翌日物金利、トルコ：1週間物レポレート、中国：1年物貸出金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/22～2017/3/24



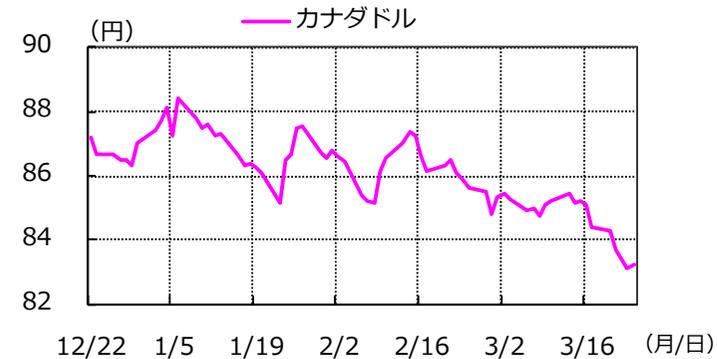
※10年国債利回りを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

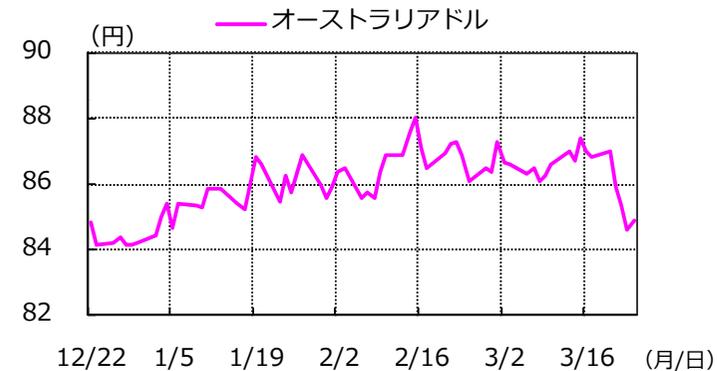
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/22～2017/3/24

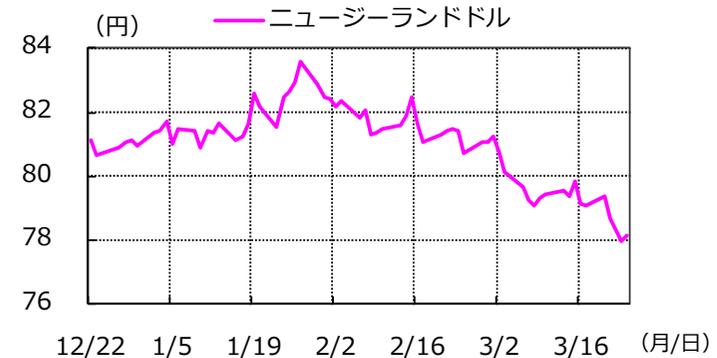
カナダ



オーストラリア



ニュージーランド

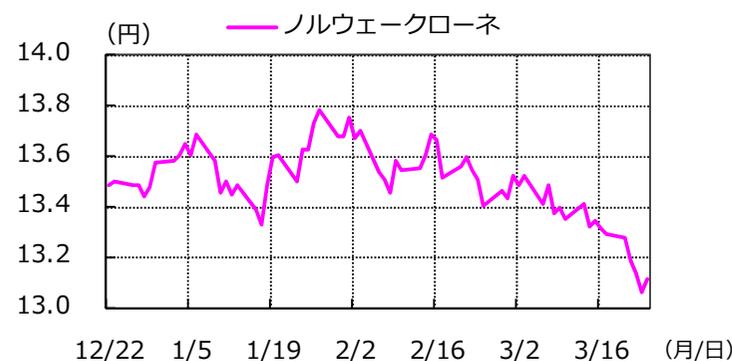


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/22～2017/3/24

ノルウェー



ブラジル



南アフリカ

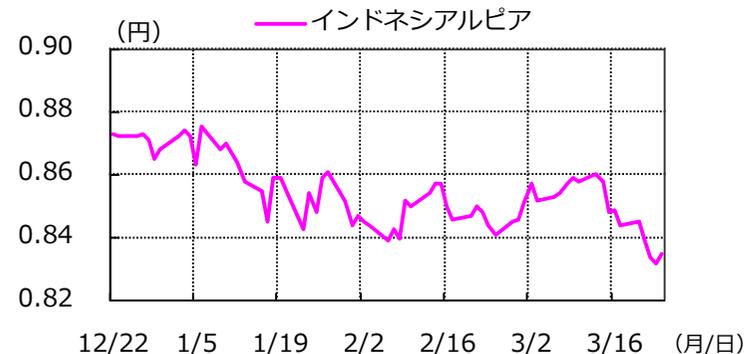
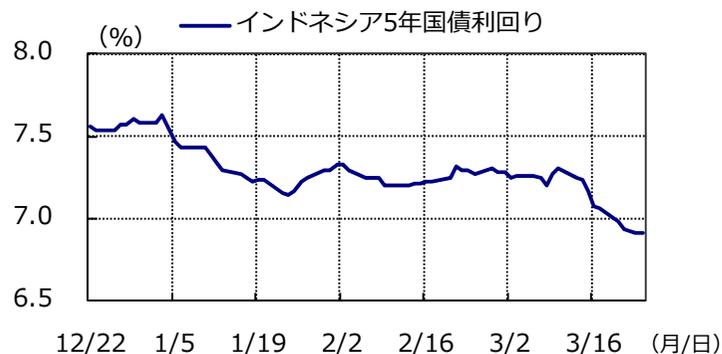


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

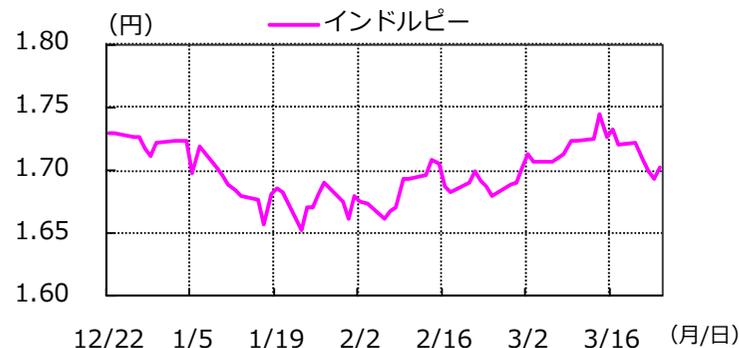
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/22～2017/3/24

インドネシア



インド



メキシコ

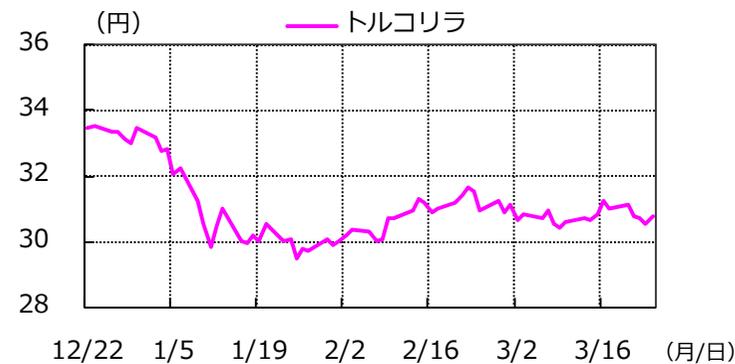


※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

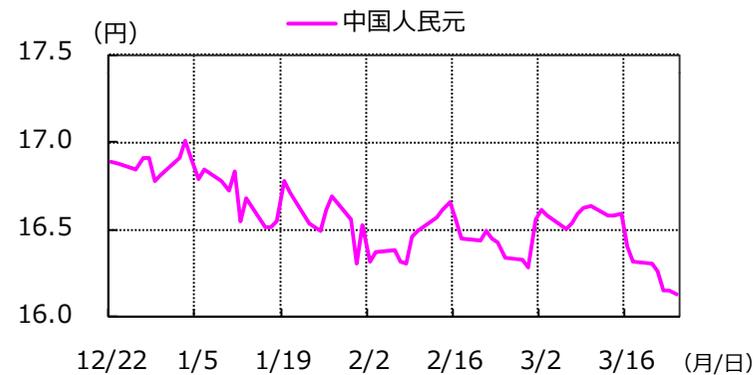
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/22～2017/3/24

トルコ



中国



※香港市場における中国国債の利回りを表示。

※香港市場における人民元の為替レートを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。